

累計**75**万部ベストセラー『未来の年表』シリーズ、初の完全図解版、副読本！
未来の年表で紹介したデータも最新のものに更新 最新データ、グラフィック満載

『河合雅司の未来の透視図——目前に迫るクライシス 2040』

(著者)河合雅司、(取材協力)道丸摩耶

(価格)1100 円＋税 (発売日)2019 年 5 月 23 日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍「河合雅司の未来の透視図」を2019年5月23日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

◆『未来の年表』では掲載できなかった最新データ、グラフィックが満載

- ・高齢者の激増＋勤労世代の激減＋出生数の激減＝人口減少の構図、2040年に噴出する「クライシス2040」の問題点が一目でわかるカラーページ
- ・家の近所に商店がない「買い物難民」、高齢者による「自動車事故」、医療現場の高齢化、中小企業の後継者不足、若者の消費離れで「縮む市場」、消防団員が減り保護司の高齢化による治安悪化の実態、地方に子供がいなくなる「無子高齢化」、出産可能な女性が消える全国ランキング、高齢者増減率・割合全国ランキング、エリア別ハザードマップ、大都市圏別人口減少データ比較、都民を襲う「医療・介護地獄」のグラフィック化を初収録
- ・『未来の年表』では一部しか掲載できなかった、小売、宿泊・飲食、生活関連サービス、金融、学術研究、教育・学習支援、医療・福祉など、サービス施設の存続率が50%を割る(廃業や撤退する可能性がでてくるライン)人口規模がわかるグラフィックを見開きで展開
- ・未来の年表で紹介したデータも最新のものに更新



【もくじ】より

はじめに 人口減少日本が一目でわかる「未来の透視図」

第1章 「人生100年時代」の到来——高齢者の激増

第2章 「24時間社会」の崩壊——勤労世代の激減

第3章 「未来の母親」がいなくなる——出生数の激減

第4章 悲しすぎる地域の未来——全国で町やモノが消滅

第5章 ではどうする? 「戦略的に縮む」ための5つの提言

あとがき いつから「未来」という言葉が暗い意味になったのか

河合雅司(かわいまさし)

1963年、名古屋市生まれのジャーナリスト。産経新聞社論説委員、高知大学客員教授、大正大学客員教授のほか、内閣府、厚労省、農水省の各有識者会議委員も務める。専門は人口政策、社会保障政策。中央大学卒業。2014年、「ファイザー医学記事賞」大賞を受賞。

主な著書に『未来の年表』『未来の年表2』(講談社現代新書)、『地方消滅と東京老化』(共著、ビジネス社)など多数。

【お問い合わせ先】株式会社ビジネス社 広報担当:松矢 千162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail: matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。